

秋の大山

おおやま

18- A R・O

この部誌では、数年前に僕が訪れた大山について書いていきます。最後までお付き合いいただくと嬉しいです。

大山登山は、こま参道を登るところから始まります。参道には階段が362段、踊り場が27段もあります。階段を登っているとかなり疲れますが、途中途中にお土産屋もあるので、ショッピングを楽しみながら登るのもいいかもしれません。ちなみに、各踊り場には大山の代表的なお土産である、「大山こま」をデザインしたタイルが埋められています。こまの大きさや数で、何段目の踊り場なのかがわかるそうです。



こま参道を登りきると、大山ケーブル駅が見えてきます。ここからはケーブルカーに乗っていきます。大山ケーブルカーは基本単線ですが、途中駅の大山寺駅でケーブルカーがすれ違うため、ここだけ複線になります。右の写真は大山寺駅の*跨線橋から撮影しました。大山寺駅からはかなりの急勾配です。このような坂も走ることができるのも、ケーブルカーの魅力の一つでしょう。

*跨線橋:鉄道路線の上を横切ってかけられた橋のこと



ケーブルカーの終点である^{あふりじんじや}阿夫利神社駅に到着すると、長い階段が見えてきます。これを登りきった先が大山阿夫利神社です。現在の大山阿夫利神社は本社に^{おおやまつみのおおかみ}大山祇大神、^{ついでにおおかみ}摂社奥社に^{おおいかづちのかみ}大雷神、そして前社に^{たかおのかみ}高率神

を祀り、江戸時代以前には石尊大権現せきそんだいごんげんを祀っていたそうです。神社の手前には茅の輪ちと呼ばれる稲藁で作られた輪が設置されていて、12月にはこの輪をくぐることで一年の汚れを落とす、大はらいと呼ばれる神事が行われます。残念ながら僕が訪れた時は設置されていませんでした。



この社の左脇には頂上へ行くための登山道があるのですが、体力の限界という問題を抱えていたため僕はここまでしか登っていません。しかし頂上からの眺めはいいそうなので、是非大山を訪れてみてください。最後にこの部誌をお読みいただき、ありがとうございました。

出典:関東総鎮護大山阿夫利神社
URL:<http://www.afuri.or.jp/>

